

### アサカ理研 いわき市に研究施設

ジャスタック上場で福島県郡山市に本社を置くアサカ理研は「生産技術開発センター」（福島県いわき市）を28日に関係者に公開した。レアメタル（希少金属）、レアアース（希土類）の効率的な抽出を実証的に研究する施設で、昨年から建設を進めてきた。

施設の敷地面積は約3万4000平方メートル、建物の延べ床面積は約4000平方メートル。土地代を含む総投資額は約15億円で、福島県と経済産業省が補助した。独立行政法人の日本原子力研究開発機構が開発したレアアース・レアメタルを溶媒によって抽出する「エマルジョンフロー法」という基礎技術を導入。低コストで迅速な回収技術の実用化に取り組むのは世界で初めてという。

回収する物質はランタン、ガドリニウム（以上レアアース）、タンタル、ニオブ、スズ（同レアメタル）の5種類。2種類のレアアースはカメラなど光学レンズの小型化に欠かせない物質だ。カメラメーカーの工場で発生する廃レンズからレアアースを抽出し、回収したレアアースを再びメーカーに納める予定だ。今後この方式を活用したりサイクル技術を活かすの元素にも応用することを検討している。

野納敏展社長は28日の



社には従業員や顧客への予ヤマ（仙台市）の3社。ア

### がん予防で協力協定

防啓発活動に取り組んでもイリスの大山健太郎社長は「がんは早期発見でほぼ治上につなげる。奥山恵美子 癒できる。会社をあげて支市長は「市の啓発だけでは 援したい」と強調。日生の不十分。民間との連携で受 井林義裕仙台支社長は「早

### 仙台市と生保など 検診の受診率向上

・団体は13になった。仙台市民のがん死亡者は死亡者全体の約30%を占める。受診率（2013年度）は乳がんと子宮がんで政令指定都市中トップになるなど総じて高めたが、市は締結先を増やし、検診率をさらに高めたい考えだ。

### 宮城・大崎の窓製品工場稼働 YKKAP

建材メーカー大手のYKKAPは28日、宮城県大崎市の東北事業所内で新工場を稼働させた。断熱性能が高い樹脂窓製品の主力ブランド「APW」シリーズを製造する。東日

本での基幹工場との位置付けで、東日本大震災から約41億円の生産能力は年間14万窓と、従来の2・8倍に増強した。同社の

### 鍋を囲んで交流

「地元の方が我が子のように接してくれるので、私たちの『力になりたい』との思いも強くなる」。岩手県立大学3年の藤村咲綺さ



参加。今までに地域の防犯見回りや独居高齢者宅の雪かきなどを行ってきた。

▼岩手県滝沢市 1889年、滝沢村が発足。盛岡市のベッドタウンとして発展。合併案も浮上したが、2011年3月11日、東日本大震災直前に単独市制移行を決めた。14年1月1日、人口5万5千人を維持するに市制移行。同時に「人口

### 定住促進へ貸しオフィス

再興の条件 ④

昨年まで「人口日本一の村」だった岩手県滝沢市。県立大3年の大信田侑里「市」に昇格した後も人口増は続き、7月末は5万5155人。盛岡市に隣接するベッドタウンとして手ごろな価格で一戸建てが買えることが主因だが、その新住民らが地元で愛着を持つきっかけとなる「にぎわい

たす役割も大きい。市は、こうした学生が卒業後も定住できるようにと「たきざわ検定」を実施の思いも込めて、ソフトウェア情報学部を持つ県立大の正門前にIT（情報技術）企業向け貸しオフィス2棟を整備した。首都圏のIT企業など計17社が入居、今春完成した2棟目の空きも

### 学生活動も滝沢市に活気



あと2室しかない。県立大2年の遠藤拓也さんも3人採用。「今年度中にはこうした企業と組み、ゲームソフト開発や高校生向けIT授業などのイベント活動を展開する。」「グループ結成から1年たち、メンバー15人の技術水準も上が

企業進出も進む。岩手県立大卒業生らも働く進出企業ヴェス（岩手県滝沢市のオフィス）が、IT製品の検査を手掛けるヴェス（東京・新宿）は、盛岡大3年の多田圭佑さん（20）は来月、学園祭実行委員長として地元へ挨拶回りに出向く。「今年もご迷惑かけます」と言いつつ、みな「OK、OK」と頑張った。6人だった。た社員は26人。利便性は盛岡に劣るが、滝沢は人が優しく、自然も多く、居心地がいい。柳村典秀市長との対談で「市役所も君たちを待っている」と言われたこともあり、卒業後は出身地の花巻市に帰るつもりだったが、最近「滝沢で就職するのもありかも」と考えている。

## 東北

支局 盛秋青仙  
岡田森台  
00118-7222-5613  
0119-6222-35013  
郡福山  
山形  
0223-6222-2072  
0244-5223-7458  
0244-9338-7758

地域情報ヘッドライン  
日経電子版紙面ビューアーから

ジオパ、下北半島委員会、日本ジオは28日、青の日本ジオ見送ることオパークは地質を自然全し、教育生かす取り会は下北半送った理由的遺産の認全、テーマ不十分な点動する準備い」としてむつ市な経済団体が北半島ジオ進協議会」かどうか今討する。